

輝け田底っ子

第45号

文責：校長 益永 一幸

令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ① 最後までがんばろう ② 上手に伝え合おう ③ 自他を大切にしよう



「校則見つめ直し検討委員会」「学校指定物品選定委員会」を開催

12月14日（水）15:30から田底小学校会議室で、「校則見つめ直し検討委員会」及び「学校指定物品選定委員会」を、保護者・地域代表5人、児童代表（なかよし運営委員会から）2人、学校代表5人の出席者で開催しました。

○「校則見つめ直し検討委員会」では、田底小の校則「田底小学校のくらし」にある、①「くつ下は華美にならないものとします。（くるぶし×）」、②「ものの貸し借りはしません。」、③「遊びに行くときは、・・・ゲーム（カセット含）やカードの持ち出しは禁止、・・・」の3つのきまりについて検討しました。それぞれの立場から話し合った結果、次のように決まりました。

① 変更：くつ下は、派手にならないものを着用します。

説明：くるぶしの下でも可能。華美を派手に変えています。

② 変更：ものの貸し借りはしません。ただし、学習に関するものについては先生に言ってから借りてもよい。 説明：ただし書きを付け加えました。

③ 変更なし。 説明：なくしたら大変だから。

○「学校指定物品選定委員会」では、保護者の負担軽減、業者選定の透明性、受注機会の公平性を評価して、「体操服」「標準服」等については、これまで通り、複数の業者による保護者の選択で購入できることとなります。

これら詳細の内容については、保護者の方々にも後日お知らせいたします。ご意見等がございましたら、学校までご連絡ください。



熊本市では、昨年度から「校則・生徒指導のあり方見直し」の取り組みを各学校で行うことにしています。自分たちの決まりは、自分たちで作って、自分たちで守り、不具合があれば自分たちで見直していくという民主主義の基本を身に付けながら、自ら判断し行動できる子どもの育成を目的として行っています。校則は昔と違って、「教師が守らせる校則」から「自分たちが守る校則」という考え方を基本にしています。

校則を変えることが目的ではないので、田底小学校では「見直し」ではなく「見つめ直し」という表現にしています。今年度も「田底小学校のきまり」（校則）を各学級で見つめて意見を出し合い、出た意見を代表委員会でさらにまとめました。そして、そのまとめた意見を議題にして、児童代表・保護者・地域代表・学校代表で検討し合い、全員の合意のもと「田底小学校のきまり」を更新していきます。